

土間スラブの底型枠が算出される

床の断面リストの登録で、土間スラブとしての指示を間違えると底型枠が算出されてしまいます。

1. 土間スラブの設定

① 「集計部位」を「土間」にします。

集計部位を「土間」にし、「型枠」は何も入力しなければ、底型枠は計算されません。
 (「型枠」に「普通型枠」などを選択してしまうと、底型枠が算出されてしまうので注意してください)

② 上記設定で、部位別集計表では「土間」という部位に数量が集計されるようになります。

(R C 部位別集計表)

*** サンプル新築工事 ***

2021.10.28

PAGE- 1

躯体区分:本体

部位名称	コンクリート(m ³) (土間コ)	(Fo-21)	(Fo-24)	型枠(m ²)				鉄筋(t) (SD295A)	D10	
				普通	(打放)	(F ^o ッ1.0)	(F ^o ッ1.2)			計
基礎			108.80	108.80	222.40			222.40	0.89	
礎版			11.78	11.78						
基礎大梁			75.15	75.15	313.00	34.53		347.53	0.07	
基礎小梁			19.88	19.88	118.08			118.08	0.01	
地下壁										
柱		38.62	2.05	38.67	313.28			313.28	0.11	
大梁		51.70		51.70	326.00			326.00	0.07	
小梁		9.45		9.45	66.22			66.22	0.31	
スラブ		91.89	11.00	102.89	651.97		15.60	21.26	688.83	1.03
土間	16.05			16.05						
壁		124.51		124.51	1608.36			1608.36	0.21	
階段		4.24		4.24	41.16			41.16	0.12	
ハコット		6.12		6.12	75.74			75.74	0.39	
雑A		0.80		0.80	3.20			3.20		

③ 仮に「集計部位」を入力しない(スラブとして集計される)で、底型枠を算出したくない時は、「型枠」で「底型枠なし」を選択します。